



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信

平成26年8月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.139

五ヶ瀬町「スポーツボランティアの聖地」認定!



SVスポーツボランティア協会より、「スポーツボランティアの聖地」認定書を授与(右:原田 五ヶ瀬町長)



ロアッソ熊本によるサッカー教室



卓球教室の様子

カタール視察団が訪問



2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け五輪合宿PR!



交流パーティーの様子



カタール視察団の皆さん

7月21日、五ヶ瀬町が、一般社団法人SVスポーツボランティア協会(東京都)より「スポーツボランティアの聖地」の認定を受けました。これは、2020年の東京五輪・パラ五輪の開催を国際的発展の機会と捉え、海外を含めた観光客の増加を狙った取組の一環です。

また、東京五輪・パラ五輪の直前キャンプを誘致するため、カタールの視察団(カタール商工会議所所長ら5人)を招き、五ヶ瀬町総合運動公園「G・パーク」の視察、松下浩二さん(元卓球五輪日本代表・日本初のプロ卓球選手)らによる卓球教室や、ロアッソ熊本によるサッカー教室の開催、カタール視察団を囲んでの交流会が行われました。

旧田原村役場が国の登録有形文化財に

たばる

7月18日、国の文化審議会は、高千穂町河内の「旧田原村役場」を登録有形文化財とするよう文部科学相に答申しました。登録されれば、県内では76件目、高千穂町で初めての登録有形文化財となります。この建物は、1927年（昭和2年）に完成したもので、1956年（昭和31年）に高千穂町と合併した後は、高千穂町役場の出張所となり、1978年まで使われました。現在は、河内公民館青壮年部（岩本浩二部長）の10人で所有し、維持管理をされています。今後は、NPO法人を設立し、交流人口増加や地域の活性化に活用していきたいとのことです。



石積みの上にある旧役場



旧村役場の外観

西臼杵地域県民会議

7月15日、県総合計画「未来みやざき創造プラン」の改定にあたり、その方向性について県民と意見交換を行う西臼杵地域県民会議が、西臼杵支庁で開催されました。

会議では、西臼杵3町から推薦されたメンバー18人が、「人財」「暮らし」「産業・交流」のグループに分かれ、意見を出し合い、最後にグループごとに発表を行いました。各グループからは、「子供が集まる、遊ぶ場所の確保を」「県民の災害に対する危機意識を高める必要がある」「6次産業化は具体的な成果が見えるような施策が欠かせない」「移住者を呼び込む施策を」などの意見が出されていました。10月に予定されている次回も活発な議論が期待されます。

総合計画については、詳しくはこちら (<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/honbu/seisaku/chouki-vision/page00262.html>) をご参照ください。



「人財」グループ



「暮らし」グループ

「産業・交流」グループ

西臼杵地区認定農業者協議会総会

6月25日にゆめゆめプラザTACにおいて「西臼杵地区認定農業者協議会総会」が開催され、会員と関係機関あわせて53名が出席しました。認定農業者は、自ら設定した農業経営改善目標の

達成を目指す各町認定の農業者で、地区協議会では会員同士の連携や農業経営・技術に関する研修等を行っています。

今年度の総会では役員改選が行われ、高千穂町の林利朗氏が会長に、副会長に日之影町の佐藤貴氏、五ヶ瀬町の小笠秀哉氏が選任されました。総会終了後は、西臼杵支庁長をはじめとする来賓も交えた交流会が行われ、会員相互の情報交換の場となりました。



右から林会長、佐藤副会長、小笠副会長

西臼杵地区認定農業者協議会総会



谷山前会長のあいさつ

目指せ！世界農業遺産認定！

7月28日、「高千穂郷・椎葉山世界農業遺産推進協議会」（会長：高千穂町長）が開催され、西臼杵3町と椎葉村、諸塚村で構成される当地域の「世界農業遺産」認定に向けた申請書が承認されました。

世界農業遺産は、次世代に継承すべき伝統農法や農業文化などを有する地域を国連食糧農業機関（FAO）が認定し、その保全と持続的な活用を図るプロジェクトで、国内では、熊本県阿蘇地域や大分県国東半島・宇佐地域など、5つの地域が認定を受けています。

高千穂郷・椎葉山地域は、伝統的な農林業による棚田等の美しい景観や、神楽など世界でも貴重な伝統文化を有しており、この認定を受けることで、地域農家・住民の意欲向上や、農産物等のブランド力の向上、観光客等の増加など、地域活性化が進むことが期待されます。

今後は、今年9月に開催される農林水産省での審査会や現地調査を経て国内候補地が決定され、来年開催の国際フォーラムにおいて最終の審査が行われる予定です。世界農業遺産への取組をぜひ応援ください！



親子で始める健やか食生活！地産地消料理教室

7月8日、高千穂町立田原中学校において、地産地消を中心とした食育活動として、食育推進リーダーの竹次悦子さん、食生活改善推進員や管理栄養士等の講師のもと、調理実習「自分で作ってみよう！お弁当」が行われました。



田原中学校生徒と保護者、学校関係者の約50人が参加し、講師にアドバイスをもらいながら、小松菜のソテー、ピーマンのじゃこ炒めなど地元産の旬の野菜を使った料理を作りました。参加者からは、「みんなで、料理ができて楽しかった」、「家でも作ってみたい」、「料理に興味を持つ生徒が増えるかもしれない」などの感想がありました。



食と農の絆づくりコンクール表彰伝達

6月20日、西臼杵支庁において、「食と農の絆づくりコンクール」の表彰伝達が行われました。表彰されたのは、食と農の絆づくりコンクールの市町村域活動部門で優良賞を受賞した、宮崎県いきいき女性アドバイザーの会「高千穂天照」さんです。

表彰伝達には、食育推進リーダーでもある代表の橋本美代子さんにお越しいただき、活動についての事例発表も行ってもらいました。

同会では、高千穂町子育て支援センターを利用して、いる親子を対象に、高千穂町内産の食材を利用した料理教室などの食育活動や、高千穂町内に伝わる伝統料理を若い世代に伝えていく活動を行っています。



「T-キッチン」の夏のふるさと便

高千穂町内の農村女性起業によるネットワーク（T-キッチン）では、地元の農産物を活用した魅力ある加工品の開発に取り組んでいます。

昨年度は、4グループ（そよ風工房、山の学校ルート50、もちばる夢工房、梅の実会）でセット商品を販売しましたが、今年度は「だごみや工房」が加わり、5グループで『夏の手づくりふるさと便』を作りました。

中身は地域内の野菜やきんかん、大豆、米粉等を使った7種類の加工品（味噌、野菜ソース、ジャム、お菓子）となっており、100セット限定で注文を受け付け販売となりました。12月には冬のふるさと便の販売も予定しています。



夏のふるさと便



T-キッチン集合写真

中川登集落「アート米」田植え

6月21日、高千穂町中川登で、アート米の田植えが行われました。

この取組は中川登集落協定の皆さんの主催で行われ、4年目を迎える今年は約50名が参加し、約30アールの田に6種類の色の稲を手植えしました。今年10月に、高千穂町で第58回宮崎県畜産共進会が開催されることから「祝 県畜産共進会」の文字と、牛の絵をデザインしています。

参加者は自分が担当する絵柄を思い描きながら、楽しんで田植えをしていました。

秋に向け、徐々にデザインが浮き上がってきます。中川登の尾久保近く（JA肥育センター近く）を通る際はぜひ足を止め、鑑賞してみてください！



田植えの後は、おいしいおにぎりなどをごちそうになりました！



みんなで集合写真！

【西臼杵イベント情報】

高千穂町：サルタフェスタ

日にち：8/24（日）

時間：開場■10：30～

開演■10：50～21：00

場所：高千穂町総合公園

内容：今年のテーマは「IZA！（いざっ!）」

様々なイベントで高千穂の夏を熱くします！

主なステージイベント■アマチュアバンド、ヒムカイザーショー、侍ショー、手品ショー、MKM-ZERO、JABERLOOP（高千穂出身の長友さんがトランペッターを務める5人組のクラブジャズ・バンド）

その他、お化け屋敷、パザーなどの様々な企画あり。夜8時半から2,000発の花火が上がります！

問い合わせ先：サルタフェスタ実行委員会事務局（高千穂町企画観光課内：0982-73-1207）



SALTA
FESTA
2014

8/24
開催

編集後記

夏本番です。高千穂町がまだせ市場「鬼八の蔵」では「花金夜市（毎週金曜日）」、五ヶ瀬町木地屋では「森のビアガーデン」が始まりました。つまり外でビールが飲めるということ。花金夜市では、出店などお祭り気分の中わいわいと、木地屋では、夕日の見える壮大な景色を眺めながらビールが飲めます。西臼杵のビアガーデンは夕日が沈むと涼しいので特にお勧めです！ぜひご利用ください！（猿）

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181

FAX 0982(72)3760

URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html